

町田通勤寮だより

NO 70
2018年 7月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

寮長 三階 広明

7月2日～3日にかけて開催「全国的障害関係施設長等会議」（テーマは『これからの障がい福祉と事業者が目指すもの』）に参加いたしました。2日は全体会として、基調講演、行政説明、シンポジウムが行われ、3日は4つの分科会という構成で行われました。

講演は「今、障がい福祉に何が求められているのか」社会福祉法人制度改革や平成30年度報酬改定を踏まえて」と題して、岡山大学大学院法務研究科の西田和弘教授を講師にお迎えし、昨年度から話題になっていた社会福祉法改正に伴う、様々な『法人改革』についての基本的な方向性や事業者としての対応についての話から、具体的な報酬改定の目指している方向についてのお話でした。

行政説明では今回の改定についての『国としての』考え方が改めて説明されました。

シンポジウムでは、『今後の障害福祉サービスを考える』をテーマとし、基調講演を受ける形での『社会福祉法人の在り方・事業者としての責務』と言っ

たシンポジストの発題があり、『地域共生社会』実現に向けた取り組みについての事例等も発題されました。

分科会は「これからの福祉サービスのあり方―居住支援・日中支援が目指すもの―」をテーマとする分科会に参加しました。

特別講演として「発達障害に必要な理解と支援―当事者の立場から―」と題して、発達障害の当事者であるNPO法人代表の広野ゆいさんの発表と講演『あつたか地域の大家族』というテーマで、富山県での実践報告があり、発題を受けて『大きな生きづらさを抱えている人達の暮らしと日中活動』というテーマでシンポジウムが行われました。

近年、通勤寮の利用者にも、『発達障害』と言われる利用者が増えているといわれ、その対応が大きな課題になってきています。

この研修で学んだこと、感じたことを職員と共有し、「支援力」を向上させていきたいと考えています。

話は変わりますが、サッカーワールドカップが始まり、決勝トーナメントが進んでいます。残念ながら日本代表はベスト16には残りましたが、トーナメント初戦で逆転負けをしてしまいました。強豪国と言われるチームが破れ波乱の大会と言われていますが、どのチームが優勝するのか楽しみな、寝不足の夏です。

第19回 東京都障害者スポーツ大会

支援員 浅田 恵理子

5月26日(土) 陸上、27日(日) ボウリングとそれぞれの種目で引率を行いました。

陸上は今年入寮された男性利用者1名の参加者で、初出場となりましたが、

出場レーンで見事1位となりました。

ボウリング大会では、通勤寮から4名、GHから2名と計6名が参加され、それぞれ好成績をのこしました。

電車の移動中もマナーを守り、誰一人として怪我をすることもなく無事に終えることが出来て、ホッとしています。

大会を終えて、それぞれから「もつと練習をすればよかった」「くやしい、もつと上位を狙えたはず」「楽しかった。個人的にもボウリングもつと行こうかな」などいろいろな感想が出ました。

6月2日(土)は身体部門で陸上に参加された利用者さんが2種目で2位となり好成績となりました、やはり上位を狙っていたことも有り悔しがっていました。

スポーツを通して目標に向かって努力する大切さ、仲間を応援する優しい心が自然と身に付き利用者さんにとって、とても良い経験となったと感じました。

主任支援員 武智 里峰

5月27日(日)、5月下旬の割には日差しが強くとても暑い中、東京都障害者スポーツ大会、陸上・卓球が、駒沢オリンピック公園総合運動場(競技場・体育館)で行われました。

通勤寮からは、K林さんが100m走、T原さんが卓球にそれぞれ参加しました。

当日を迎えるまで、2人共忙しい中自主練習に取り組み、本番に臨みました。

結果、K林さんは3位、T原さんは2回戦で負けてしまいましたが、それぞれが自分の目標に向け一生懸命取り組んでいた姿は、普段では見られない清々しい姿であり、通勤寮での良い思い出となったのではないかと思います。

就労講座

支援員 小林 美樹

社会福祉法人いたるセンターでジョブコーチをされている渡邊奈都氏を講師にお招きして、5月25日に就労講座を開催いたしました。

3月に入寮した利用者さんは学校を卒業し新入社員として働き始めて一か月余りが過ぎ、少し職場にも慣れた頃で様々な思いが出てきます。よく「五月病」と呼ばれ、仕事へ行きたくない・学生に戻りたいと成ってしまうため、就労意欲を高める事を目的として開催しております。

今回のテーマは「就労ピラミッド」「基本的労働習慣」の2点についてグループ毎に分かれて進めていただきました。

利用者さんの多くの方は「就労ピラミッド」を学校または職場で説明を受けていたようで確認しながら進めていきました。「基本的労働習慣」はイラストでの説明で解り易かったと思います。

就労継続していくためには、生活安定が最も重要と成ってきます。三食きちんと摂取・睡眠時間の確保・処方されている服薬も大切です。今後、利用者の皆さんが社会人として地域生活を送る上で就労は最も大切な柱と成ります。悩みや壁にぶつかかることも有ると思います。そんな時、支援員としてしっかりとサポートできるようにと改めて感じた講座でも有りました。

性講座

支援員 西岡 理智子

6月15日(金)性の健康医学財団 渡會睦子氏を講師にお招きし、性講座を開催しました。性講座は毎年1回開催しており、利用者の方にとっては、自分自身を守るためにも大切な講座となっています。

渡會氏は以前保健師をされており、詳しい資料と共に、大変充実した内容の

講座となりました。簡単に性行為をすることは、人に迷惑をかけるだけではなく、将来の自分に迷惑をかけること、将来の自分を傷つけることだというお話から始まりました。

通勤寮の利用者の多くは20歳前後ですが、20歳と35歳では、20歳の方が妊娠しやすく、20歳前後の時にいろいろな人と性交渉をして中絶をしてしまったり、性病に感染してしまうと、30歳以降に結婚してから妊娠しにくくなります。中絶は子宮の内側に傷をつけ、ケロイド状になってしまうので、将来流産しやすく妊娠しにくくなるということでした。たった1回の性行為で自分の人生が大きく変わってしまうということをお話でした。

緊急ピルの話もあり、72時間以内に飲めば妊娠を防げることを知っておいて欲しい、無理して出産をして、生きているのがつらい赤ちゃんを産まないで欲しいというお話は、胸が打たれるものがありました。

性病には、キスでうつるものもあり、保健所では無料・匿名で検査ができるというお話に講座終了後相談している利用者の方もいました。

参加した利用者の方々は皆さん真剣に講座を受けており、重い内容に少々つらくなってしまった方もいたようですが、利用者の皆さんの将来のためにも大変役立つ講座となったと思います。

地域生活講座

支援員 入江 就仁

6月23日(土)通勤寮食堂にて第1回地域生活講座を開催しました。今回、法人内地域生活援助センターフクシア上妻支援員が講師を担ってください、①地域生活援助センターフクシアの概要説明②グループホームとは③グループホームで必要なお金とは④生活費について⑤選択肢としてという説明をしてくださいました。その後、法人内グループホームの見学を2、3か所実施し、終了となりました。

参加者は新入寮生を対象とし、通勤寮2年目利用者の方も選択制で参加してもらいました。グループホームとはという所から考える利用者の方が多い中で今回、説明を受けたことで将来における選択肢の1つとして捉えてくださった方が多数居て、とても意味のある講座となりました。説明に対する質問もありました。①グループホームに利用期限はあるの？ ②通勤寮とグループホームでお金の使い方や振り分け表のやり方は違うの？ それぞれ回答を受け、「なるほど」と利用者の方もとても納得している様子が伺えました。

今回、6月という早い時期での開催となりましたが、この時期に行うことで利用者の方が今後、選択の幅が広がり、自主選択できる機会が増えることとなります。地域移行を選択する、その人の思いや将来的な生活像を描く重要性を体験できたことは利用者の方にとっても良かったのではないかと思います。

保健講座

支援員 新井 政暁

6月28日、町田通勤寮の遠藤栄養士を講師に迎え、保健講座が開催されました。

例年は季節柄、食中毒などの話題中心になりますが、今年は食事のマナーや手洗いの方法など、より実践的な内容中心でお話していただきました。

これから一人暮らしを目指す方であっても、常に一人で食事をするわけではなく、誰かと一緒に食べたたりする機会はずっとあります。そのようなときに、せっかく社会人として立派な仕事ぶりであったり、日々の生活でしっかりしている、食事のマナーがいまいちだと、相手に与える印象が悪くなってしまう、なんだかもったいないように思います。

リラクセスして楽しく食事を摂ることは良いことだと思います。ですので、正しい食事のマナーをしっかりと身に付けて自分のものにして、あまり堅苦しく考えなくても自然としっかりとした振る舞いができるような人になって欲しい。

しいと思います。

調理実習

栄養士・調理員 遠藤 小百合

6月17日(日)調理実習を行いました。「梅雨のじめじめした陽気を忘れさせてくれる料理」と題して、具だくさんの冷やし中華・手作り餃子スープ・杏仁豆腐の3品を作りました。

今回は、調理実習初参加の方もいらして、いつもより少し賑やかな3名での実習となりました。それぞれ自分のエプロンをきちんと用意し、身支度を整え時間通りに集合して下さったので、スムーズに調理に入ることが出来ました。

手早くデザートを作り終わると、餃子の準備に。具材を細かく刻みしっかりと混ぜ合わせてタネを用意したら、全員でテーブルを囲んで餃子作りスタート。手元に集中して、真剣な表情でひとつひとつ丁寧に餃子を包んでいました。頑張った甲斐があつて、初めて作ったとは思えないような仕上がりに。ご本人たちからも笑顔がこぼれていました。

次の難関は冷やし中華の薄焼き卵。フライパンにしっかりと火を入れて、油ならしをしておけば、失敗なくきれいに焼くことが出来ます。担当した利用者さんは、フライパンをクルッと傾けて回し、上手に作っていました。

餃子スープは生姜と鶏ガラだしのさっぱり味に仕上げ、最後に麵をゆでて冷たい水でしめ、5種類の具材をたっぷりトッピング。ビタミン補給がしっかりと出来そうな3品が出来上がりました。初参加の利用者さんも、まずまずの出来栄えに、ほっとした様子でした。

早々に梅雨も明け、この夏は猛暑になりそうです。夏バテにならないためにも、今から食事をしっかりととって、疲れ知らずな身体を作っておきましょう。

次回の調理実習は8月19日(日)を予定しています。皆様のご参加、お待ちしております。



今後の主な予定

- 7月21日(土) 納涼会
- 7月24日(金) オンブズマン活動日
- 8月5日(日) クリーンデー
- 9月2日(日) クリーンデー
- 9月8日(土) テーブルマナー講座
- 9月9日(日) 13..30 保護者会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。

(<http://tsurugaku.sakura.ne.jp/wp01/jigyosho/tsukinryo/ryodaiyori/>)